

ATEM Newsletter

feb. 2009 NO.17

発行日 : 2009年2月1日
 発行 : 映画英語教育学会事務局
 住所 : 〒169-0075
 東京都新宿区高田馬場
 4-3-12アルク高田馬場4F
 TEL : 03-3365-0182
 FAX : 03-3360-6364
 E-mail : office@atem.org
 郵便振替 : 00820-3-1477

ATEM 映画英語教育学会 / The Association for Teaching English Through Movies

2009年のご挨拶

年末の蔵書整理の際、ふと『英語教育事典'96』(1995年刊、アルク)というムック本に目が留まった。その表紙に記されたトピックの1つが「映画英語教育学会が旗揚げ：映画英語教育の可能性を考える」であったからだ。その本の存在自体すっかり忘れていたが、早速中身を見ると、初代会長・鈴木博氏、現在も理事である新田春彦氏と瀧口優氏が、映画を使った授業のメリットを熱く語っている。映像イメージによって、authenticな語彙表現を多面的に直感的に学べること、学習者の大きな動機付けになることなどが、要領よく説明されている。ただし、鈴木会長が「映画のもつポテンシャルは非常に高く、その実証的な研究が急務」であると指摘している点も見逃せない。

こうして誕生した本学会であるが、各種メディアの発達、語彙学習理論の変遷、シャドウイングを始めとするリスニング手法の開発、学習ストラテジーの精緻化などと同調しながら、さまざまな研究と提言を行ってきた。刊行物では、学会紀要に加え、中谷安男&八尋春海編著『映画英語教育論』(2003年、スクリーンプレイ)、ATEM関西支部『暗唱したい、映画の英語』(2007年、金星堂)、そして角山照彦著『映画を教材とした英語教育に関する研究』(2008年、ふくろう出版；紹介はp.6)などが、そうした研究の最良の成果の一部分である。今後も、こうした枠組みを取り込みながら実証的な研究を進める必要があると痛感する。

折りしも、2008年から2009年にかけての小・中・高校向け学習指導要領の改訂により、特に高校では、英語の授業を英語で教える必要性が従来以上に高まっている。日本人は、ネイティブスピーカーの英語を神棚に祭る必要はないが、それも大いに参考にしながら、国際ステージでも誤解のないEnglish as a lingua franca (ELF)を身につける必要がある。こうした点で、教師にとっても、学習者にとっても、映画を多面的な、マルチチャンネルの学習教材となる。ぜひ、映画を通じたELF研究の役割を、会員の皆様にも担っていただきたいと願っている。

最後に、こうした状況を背景に、さらに研究を進めたい分野の一部を列挙してみたい。

- 多読と多聴教材としての映画本・映画音声の活用
- 新旧TVドラマ(1話が30分または1時間)の教材としての活用
- World Englishesを考えるための各国映画と語法
- CALL時代における映像と音声の著作権問題
- 教材化のための映像/音声編集ツールとその方法論の共有化

ぜひ、こうした分野で、そして各会員ご自身が関心を持つ分野において、映画という魅力的な題材を議論をする場として、本学会をご活用ください。

会長 磐崎 弘貞 (筑波大学)
 ————— Hirotsada IWASAKI

ATEMへの抱負

ATEM is a friendly group of people who are interested in using film media in English language education. What makes ATEM particularly friendly is that, because it is a rather small group, it is fairly easy to get a chance to meet and talk with members at the Conferences. While I appreciate and enjoy this aspect of ATEM, I also understand the need for ATEM to grow and expand its membership roster.

I would like to suggest a few ways to do this. First, members could give presentations at local chapter meetings of other teachers' groups they belong to, like JACET, LET, and JALT, and introduce ATEM to those groups, by talking about ATEM activities and publications. If the group has a publication, ATEM members could write an article introducing ATEM's activities.

Second, if ATEM's sponsors have a book booth at a teacher's meeting, ATEM could ask them to place ATEM Newsletters and Journals at their booth by partially helping with their booth cost. This will be a chance to let prospective members know more about ATEM.

Third, we also need to publicize our events more often in online event listings, like <http://www.eltcalendar.com/events/> and publications like Taishukan's English Teachers'

Magazine (『英語教育』).

Fourth, to co-ordinate these activities, perhaps we need a new Publicity Committee or expand the duties of the present committee. Just like a movie, we need to advertise ourselves to let people know we are here, and we are great. Just like a movie, we need to advertise ourselves to let people know we are here, and we are great!

I think it is wonderful that we have a friendly and productive relationship with STEM in Korea; I hope we will be able to make new relations with other groups throughout Asia as well.

As ATEM becomes more internationally involved, that is sure to attract some good new internationally-minded members.



ATEMホームページ

W.クリンガー (滋賀県立大学)
Walter KLINGER

支部報告

東海支部

2008年11月15日、名古屋国際センターにて第7回東海支部秋季映画英語セミナーを開催しました。同セミナーには、特別講演者としてATEM理事の新田晴彦先生を迎え、「創作の現場から映画のセリフを考える—シナリオライターはどのようにセリフを作り上げていくのか—」と題し、実習(?)を交えて楽しい講演をいただきました。また、講演に引き続き、以下のような研究発表などがありました。特に、最後のシンポジウムは、今回が初めての試みでしたが、フロアの参加者からも活発な意見が飛び、今までにない盛り上がりを見せていました。

- ①「映画を使った英語の授業の実践～既習の文法・語法が映画の中でどのように使われているかを聞き取ろう～」

渡辺康幸(岐阜県立可児高等学校)

- ②「A Look at Movies as Teaching Material - Using Back to the Future as an Example -」網野千代美(中部学院大学)
③「英語教育における異文化理解のための映画活用の一提案—映画にみるアメリカの子どもたち—」久米和代(名古屋大学)
④シンポジウム「映画英語は中高の現場でどこまで使えるか?」

新しい年度に入り、東海支部ではまた新たな試みを行っていきたくと考えています。

今年も、ATEM東海支部をよろしくお願い致します。

東海支部長 亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)
Taichi KAMEYAMA

関西支部報告

2008年10月18日、京都ノートルダム女子大学にて第6回関西支部大会を開催しました。今年は支部大会5周年(支部結成6周年)という節目であり、50名以上のATEM会員が集う中、磐崎ATEM会長をお迎えして「語彙多様性と洗練度から見た映画スクリプト、小説版テキストおよび多読教材の比較」と題する特別研究発表をして頂きました。恒例の映画シンポジウムは、九州支部の今村紅子先生をお迎えしての「映画『赤毛のアン』徹底活用法」。その後、8名の研究者による以下のような研究発表がありました。

- ・「受動態の日英対照研究に基づいた英作文指導の試み—映画を素材にして」
- ・「異場面同フレーズのプロンディー分析」
- ・「映画を使用した発音指導用教材作成」
- ・「『タイタニック』を用いた異文化コミュニケーション教育」
- ・「知覚動詞を知覚する」
- ・「『他山の石を以て玉を攻むべし』授業の一試案—誤用から学ばせるレメディアルアプローチの観点から—」
- ・「『ファインディング・ニモ』に見る、初学者の心をくすぐるセリフ選びと背景理解」
- ・「英語字幕付き邦画の日本語音声の有無、被験者の英語力が偶発的語彙習得に及ぼす影響」

2009年から関西支部は第2シーズンに入り、新たな重点目標を以下のように決めました。

- (1) 奈良に新たな拠点を作る。
(2) 映画英語字幕データベースの充実を図る。
(3) 中高の先生方の会員を増やす。

今年度最初の行事は、1月31日の新春交流会。支部大会は9月26日に帝塚山大学・学園前キャンパスにて開催予定です。また、支部大会とは別に研究会の開催も検討しています。さらに、『音読したい、映画の英語』(スクリーンプレイ)、『暗唱したい、映画の英語』(金星堂)に続く会員有志の出版プロジェクトも、複数進行しています。

今年も、ATEM関西支部をよろしくお願い致します。

関西支部長 藤枝 善之(京都外語大学・短期大学)
Yoshiyuki FUJIE

ATEM関西支部

映画英文法ワークショップ

映画に見られる英文法の論点、問題点を研究し、教育現場における活用法を考えるワークショップで、ATEM関西支部大会とは別に開催されます。

日時：2009年5月9日(土) 12:50~17:35
場所：京都外国語大学 1号館161教室
参加費：無料

九州支部より

九州支部は昨年設立10周年を迎えました。今年は11年目の節目に当たり、増々「元気な支部」を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年の支部大会は9月6日(土)、福岡医療短期大学において開催されました。シンポジウムと研究発表6組があり、比較文化、英語学、英語教育、音声指導など、多岐に渡って興味深い発表がなされました。関西支部からも藤枝支部長を始め3つの発表をしていただき、大変活気ある支部大会となりました。

また今回は10周年特別企画として、高瀬副支部長の計らいでプロのジャズボーカリストを迎えての映画音楽コンサートを開催。こちらは新聞で紹介されたこともあり、多くの一般参加者を迎えて好評を頂きました。



映画「カサブランカ」の As Time Goes By や「シャレード」のテーマ曲など懐かしのナンバーに、参加者一同、青春時代のワンシーンを思い出し、そして、うじまあおい氏の歌声に酔いしれた1時間でした。「カクテルが欲しかった」との声も…。当日はテレビ局の取材もあり、支部大会の様子が一部が地方版ニュースで放映されました。大会後の懇親会が盛り上がった事は、もちろん言うまでもありません。

1月末に運営委員会を予定していますが、運営委員16名全員参加と、チームワークの良い支部でもあります。前回の支部報告で八尋初代支部長は、九州支部は私たちにとっての「ユートピア」であると書いていらっしゃいました。会員にとっての理想郷であり、そして、参加する事によって明日への活力がもらえる「オアシス」でもある支部を、これからも私たちの誇りとしていきたいと思えます。

九州支部長 中島 千春(福岡女学院大学)
Chiharu NAKASHIMA

委員会報告

研究委員会

「DVD映画の日本語字幕の活用」を課題にしています。今回は、英作文の授業で宮崎アニメを取り上げました。

DVD映画の日本語字幕の活用

長年、リスニング授業で映画を利用してきましたが、2年ほど前から英作文の授業でも映画を使用するようになり、それについて簡単に紹介します。

英作文の授業では、日本語字幕と一部が削除された英語字幕をプリント(日英字幕プリント)に印刷し、それを学生に配布します。学生には日本語字幕を参考に削除された部分の英語を考えさせます。例えば、実際に授業で使っている『千と千尋の神隠し』DVD映画には、次のような日英字幕が付いています(日本語字幕は日本版DVD、英語字幕は北米版DVDからそれぞれ取得)。

(1)

湯パーバ: みんなも千をみないな; Everyone, learn from Sen.
きょうは一本つけるからね; Sake's on the house tonight.

学生に配る日英字幕プリントでは、learnやhouseの箇所を削除します。学生のレベルに合わせて、lea___, hous___のように最初の数文字を残しておけば、学力の低い学生もついて来れるようです。

最も苦勞した点は、(1)のような形式の日英字幕プリントをDVD映画から作成する作業です。英語字幕は、SubRipというDVD映画字幕文字認識ソフトウェアを使用して、DVD映画から取り出すことができます。しかし、SubRipは日本語の文字認識を上手く行うことはできません。そのため、日本語字幕については、(2)で説明しているように、画像データのままファイルとして保存して、それを英語字幕と合わせて日英字幕プリントにしました。

(2)

http://sato.fm.senshu-u.ac.jp/_web/corpus/00subRipBMP/

http://sato.fm.senshu-u.ac.jp/_web/corpus/00subRipBMP/index2.html

2008年度の授業では、宮崎アニメDVD『魔女の宅急便』、『耳をすませば』、『千と千尋の神隠し』から日英字幕プリントを作成して、使用しました。これ以外の宮崎アニメ11作品についても、(2)の方法で短時間で英字幕プリントが完成しています。(2)で使用している自作ソフトウェアは未完成の部分があり、まだ使いにくい状態ですが、今後、改良していく予定です。

副会長 佐藤 弘明(専修大学)
Hiroaki SATO

データベース作成委員会

ATEM(映画英語教育学会)ホームページのサイト・メニューに、「データベース」を加えました。

「データベース」のページは研究資料に必要なデータを収集していくページです。現在はその途上ですので一部だけを公開しています。公開中の「特集」はPDF版で開けます。真に有効なデータベースは多くの方々による正しいデータ提供により、長年かけて構築され、完成していくものです。当面の対象は、映画作品と授業研究ですが、今後、映画英語教育の実証研究・映画英語コーパス・ディスコース...と、多方面にひろげる予定です。また、英語での情報も公開しています。

映画作品については、月替わりで新作や予告編を「映画英語教育の視点で」紹介し、映画館での上映終了後はデータベースのページから閲覧できるようにしてあります。

データベース:	http://www.atem.org/pg185.html
映画作品の紹介:	http://www.atem.org/pg291.html
映画の談話分析:	http://www.atem.org/bekindrewind.pdf
名画から選ぶ美しい英語:	http://www.atem.org/pq264.html
紀要一覧:	http://www.atem.org/pg42.html
会員登録:	http://www.atem.org/pg113.html

上記のサイトは、ATEMホームページのメニューからもリンクしています。

2009年はさらに充実させるためにも、会員皆様の資料投稿を歓迎します。

塚田 三千代(映画アナリスト)
Michiyo TSUKADA

W.クリンガー(滋賀県立大学)
Walter KLINGER

国際交流委員会

韓国の姉妹学会STEMとの交流をはじめ、国内外の他学会との交流を推進することに尽力しています。2009年4月18日

開催の第13回STEM国際大会では、ATEMからの発表者も予定されています。

秋好 礼子(福岡大学)
Reiko AKIYOSHI

紀要編集委員会

学会誌「映画英語教育研究」第14号への投稿論文の審査を終了し、年度内の発行を目指して現在校正の段階です。今回も様々な角度から映像資料を利用した「研究論文」や、現場ですぐに参考にできそうな「教育実践報告」が掲載される予定

です。投稿規程に従っていない投稿も数編見られましたので、次号に投稿予定の方はどうぞご留意くださいますようお願い申し上げます。

秋好 礼子(福岡大学)
Reiko AKIYOSHI

授業研究

授業研究 「映画から、ライティング上達へ」

1

塚田 三千代 (ASP)
— Michiyo TSUKADA

映画はシーケンス(sequence)によって異なる話題や連続する複数の話題で展開する。これに着目し、考えや意見をまとめた文章で明確に伝えるときに欠かせないパラグラフ・ライティング手法で、実際にレビューが書けるようになることを目指す。

指導目標

映画から話題をまとめる。パラグラフ・ライティング手法で「Movie Review」を英文で書かせる。

評価

映画の中の話題を展開させ、パラグラフ・ライティング手法で英文レビューが書けているかを診断する。

教材

- ・DVD : 『シンデレラマン』(Cinderella Man, 2005) 上映時間144分の前半。
- ・テキスト : 『シンデレラマン』SCREENPLAY 名作映画完全セルフ集126

授業コース

*5回コースで授業を実施。レベルにより3回コースも可能。

- 第1回: 『シンデレラマン』の前半を鑑賞させる。
日本語字幕付きで、ブラドックの世界チャンピオン大会出場まで。上映時間70分。
映画前半の中心となる話題に、各タイトルを英/日で付けさせる。3~6個。
- 第2回: ① タイトル毎の話題について、場面内容から外れないような英文で書かせる。
(グループ作業も可能。以下同じ) DVD Chapter 2, 8
- 第3回: ② DVD Chapter 9
- 第4回: ③ DVD Chapter 14
- 第5回: ①~③で書いた文章を精選して、「Movie Review」を仕上げる。

■ 必須事項

- ① タイトル毎の話題について書く過程で、関連場面を視聴させ、必要な文修正をさせる。
- ② 「パラグラフ・ライティング」は高校教科書で既習しているが、定着させるために標準的なパラグラフ・ライティングのフォーマットを用意しておく。
- ③ テキストを読ませる。
- ④ ライティング成功の鍵は、場面の内容(小テーマ=話題)を英語/日本語で読み解けているか否かにかかる。

■ 指導のヒント

- ① 映画前半の内容は、1929年、ウォール街の株暴落に始まる大恐慌でアメリカ経済が後退し、失業者やホームレスが続出する社会背景の苦境の中で、ジム・ブラドックが世界チャンピオンに挑戦するまでを描いている。
- ② 話題は、ジムの家族愛(父と息子/娘、夫婦)、友人でマネージャの復活への夢、プロモーターのビジネス・センス、マスコミ報道、など。
- ③ DVD: 『シンデレラマン』Chapter 2, 8, 9, 14
- ④ 『シンデレラマン』SCREENPLAY 名作映画完全セルフ集 : PP. 32, 96, 132, 134-142。
- ⑤ 公式サイト: <http://www.movies.co.jp/cinderellaman/>
<http://www.cinderellamanmovie.com/> (英語)

授業研究 「文脈切り分け学習法で、リスニング向上へ」

2

大月 敦子 (信州大学)
— Atsuko Otsuki

映画が複数の文脈から構成されていることに着目し、これを映画英語学習に応用する。具体的には、文脈毎にセリフを切り分け、それぞれの文脈毎に学習することで会話の予測力を養成し、英語運用力の向上を目指す。

指導目標

1. 文脈を意識し、それに沿って学習することによって、映画全体のセリフの予測力を育て、文脈の大切さに気付かせる。
2. 英語セリフの学習とセリフの予測力養成によって、実践的なリスニング力を涵養する。

評価

シャドーウィングやディクテーション等でリスニング力を確認する。

教材

1. 文脈毎にセリフを切り分けまとめた配布用プリント/音声録音CD
2. DVD 『Pocahontas』. (2004) DVD. Walt Disney Studio Home Entertainment

授業概要

■ 映画1本を、文脈切り分けする

- 文脈1: ポカホンタスとジョン・スミスとの文化の違いを越えた理解と恋の行方…DVD Chapter 14, 15, 17, 21
- 文脈2: アメリカの先住民族の族長の娘であるポカホンタスの選択。

- 文脈3: 異郷への夢を追うスミスと、金を目当てにアメリカ大陸征服を企てる総督。
- 文脈4: Grandmother Willow、動物、そして友人に支えられるポカホンタス。
- 文脈5: 娘の気持ちを思いやるポカホンタスの父(族長)。

■ 指導例として、文脈を説明した後、次の順序で配布用プリントと音声録音CDを使って練習指導する。

Listening / Comprehension → Reading aloud → Parrotting → Shadowing → Role-playing

■ 映画データ

『ポカホンタス』(Pocahontas, 1995) 上映時間81分。
同年アカデミーオリジナル主題歌・音楽賞受賞作品。
あらすじ: 17世紀初頭のアメリカを舞台に、実在した先住民族ポウハタン族の族長の娘ポカホンタスと、富を求め野心を抱き新開地を求めてアメリカに渡って来た英国青年ジョン・スミスとの文化の違いを越えた理解と愛の物語。

2009年注目の新作映画

授業に役立つ映画として、お薦めしたい待望の作品

『天使と悪魔』 (Angels and Demons, 2009)



2009年5月15日(金)全世界同時公開。
『ダ・ヴィンチ・コード』シリーズ第2弾の映画

絵画・彫刻・建造物にかくされた暗号を読解できる宗教象徴学者ロバート・ラングドンは、ローマ400年の歴史記述の古文書からコードをたどって、史上最も謎に包まれた秘密結社イルミナティ復活を検知する。さらに、彼らがカトリック総教会ヴァチカンに致命的な脅威をもたらそうと企てることも知る。さて…と。

原作: ダン・ブラウン(『ダ・ヴィンチ・コード』)
監督: ロン・ハワード(『アポロ13』、『ダ・ヴィンチ・コード』)
脚本: アキヴァ・ゴールズマン(『ダ・ヴィンチ・コード』)、デヴィッド・コープ(『スパイダーマン』)
製作: ブライアン・グレイザー(『アポロ13』、『ダ・ヴィンチ・コード』)、ジョン・キャリー、ダン・ブラウン
出演: トム・ハンクス(『アポロ13』、『ダ・ヴィンチ・コード』)、ユアン・マクレガー(『スターウォーズ』)
アイレット・ゾラー(『バンテージ・ポイント』)、ステラン・スカルスガルド(『パイレーツ・オブ・カリビアン』)
公式サイト: <http://angel-demon.jp/>
配給: ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント



学会員による映画英語教育関連出版のお知らせ

『映画を教材とした英語教育に関する研究』

角山照彦(広島国際大学) 著

ふくろう出版(2008年、定価3,619円+税)

本学会理事でもある角山氏が、ひじょうに中身の濃い映画英語研究書を出版した。本書は、まず映画英語研究の歴史を概観しており、この部分だけでも、単なる先行研究を越えて史的価値のある資料となっている。その上で、中・高・大学における映画題材の活用についてその方法論と効果を実証的に論じている。これまで、映画教材を使う場合のノウハウを記した書籍は存在したが、それをここまで統合的な実証研究に高めたのは、本書が初の試みであろう。統計処理を駆使した部分は多少とつきにくいかもしれないが、本書を読み進めれば、映画英語研究の何がわかり、何がわかっていないか、今後何をすべきかが目の前に見えてくる。映画英語教育の必読書の登場と断言できる書である。(磐崎弘貞)



スクリーンプレイ・シリーズ最新刊 風と共に去りぬ



公開70年を経ても色あせることのない、愛と情熱と感動!!

1861年、ジョージア州タラ。大地主の美しい長女スカーレットは、幼なじみのアシュレーに思いを寄せているが、彼は別の女性メラニーと婚約してしまう。怒り悲しんでいるところを、悪い噂の絶えない紳士レットにからかわれ、激昂するスカーレット。その際、南北戦争が勃発。激動の涙が押し寄せるアメリカ南部を、スカーレットは不屈の精神でたくましく生き抜いていく…。

2009年2月25日発売予定
菅原田 重三 監修 A5判 272頁 1,890円(税込)
[978-4-89407-422-4]



販売好調につきたちまち増刷!

プラダを着た悪魔

ジャーナリスト志望のアンディが就いた仕事は、一流ファッション誌のカリスマ編集長ミランダのアシスタントだった…。

竜山 太一 監修 A5判 160頁 1,250円(税込)
[978-4-89407-413-2]

新学期の授業にこの1冊!

JUNO/ジュノ

16歳の高校生ジュノは、興味本位でした一度きりのセックスで妊娠してしまう。女子高生の妊娠と成長、彼女を支える家族の愛をコメディタッチで描いた感動作。

高橋 文広 監修 A5判 156頁 1,250円(税込)
[978-4-89407-420-0]

株式会社フォーイン スクリーンプレイ事業部 <http://www.screenplay.co.jp/>
〒464-0028 名古屋市中区栄区桜が丘292 電話 062-789-1255(代) FAX 062-789-1254

自費出版のお見積り・ご相談承ります。
お気軽にお問い合わせください。

暗唱したい、 映画の英語

心に刻む感動の名セリフ集

藤枝善之 監修
映画英語教育学会関西支部 著

映画には、心に響く
“ことば”がある。

押語の「暗唱したい、映画の英語」押語集
名セリフから映画の隠れたメッセージを知らそう!

I would be so afraid of being alone with you.
Now I can't be without you.

藤枝善之 監修
映画英語教育学会関西支部 著



KINSEIDO

金星堂

東京都千代田区神田神保町3-21 (〒101-0061)
電話 03(3263)3828 FAX 03(3263)0718
E-mail text@kinsei-do.co.jp
URL <http://www.kinsei-do.co.jp>

好評発売中

暗唱したい、映画の英語

心に刻む感動の名セリフ集

藤枝善之 監修
映画英語教育学会関西支部 著

B6判、220ページ、定価(本体1,300円+税)
ISBN978-4-7647-0990-4

ATEM 第15回 全国大会発表者募集

ATEM (The Association for Teaching English through Movies)

会場: 専修大学 生田キャンパス
日程: 2009年6月20日(土)

応募締切り日: 2009年3月17日

応募資格: ATEM会員であり、会費を全額納入していること。

共同発表者も同じ。

大学院生の発表については、個別に対応。

ATEMホームページ (<http://www.atem.org/>) にも案内しています。

役員及び委員紹介

名誉会長

鈴木 博(東京大学名誉教授)

名誉理事

鈴木 雅夫((株)フォーイン代表取締役)

会長

磐崎 弘貞(筑波大学)

副会長

佐藤 弘明(専修大学)

高瀬 文広(福岡医療短期大学)

藤枝 善之(京都外国語大学・短期大学)

理事

秋好 礼子(福岡大学)

岡崎 弘信(環太平洋大学)

角山 照彦(広島国際大学)

亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)

W. クリンガー(滋賀県立大学)

瀧口 優(白梅学園短期大学)

塚越 博史(北海道医療大学)

塚田 三千代(映画アナリスト)

中島 千春(福岡女学院大学)

新田 晴彦(専修大学)

日野 克美(宮城大学)

真下 富雄((株)広真アド)

研究委員会

磐崎 弘貞(筑波大学)

佐藤 弘明(専修大学)

兼本 円(琉球大学)

紀要編集委員会

秋好 礼子(福岡大学)

亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)

新田 晴彦(専修大学)

日野 克美(宮城大学)

大会運営委員会

岡崎 弘信(環太平洋大学)

亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)

佐藤 弘明(専修大学)

中島 千春(福岡女学院大学)

藤枝 善之(京都外国語大学・短期大学)

賛助会員交流委員会

天野 剛至((株)フォーイン・スクリーンプレイ事業部)

高橋 ひとみ((株)広真アド)

著作権問題専門委員会

角山 照彦(広島国際大学)

瀧口 優(白梅学園短期大学)

塚越 博史(北海道医療大学)

藤枝 善之(京都外国語大学・短期大学)

朴 真理子(立命館大学)

データベース作成委員会

岡崎 弘信(環太平洋大学)

W. クリンガー(滋賀県立大学)

塚田 三千代(映画アナリスト)

大月 敦子(信州大学)

神田 みなみ(平成国際大学)

原島 一男(ジャーナリスト)

国際交流委員会

秋好 礼子(福岡大学)

高瀬 文広(福岡医療短期大学)

倉田 誠(京都外国語大学)

鶴田 知嘉香(西南女学院大学)

会計監査

泉 日出人(京都府庁)

大月 敦子(信州大学)

支部

東海支部長 亀山 太一(岐阜工業高等専門学校)

関西支部長 藤枝 善之(京都外国語大学・短期大学)

九州支部長 中島 千春(福岡女学院大学)

事務局長

真下 富雄((株)広真アド)

会計

盛 みえ子((株)広真アド)

入会案内

1. 本学会には学会の主旨、目的、会則に賛同する人及び会社・団体は誰でも入会できます。
2. 下記の入会申し込み用紙に記入の上、事務局まで FAX または郵送して下さい。E-mail でも結構です。
3. なお、賛助会員として入会ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。
4. 送付先: 映画英語教育学会事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-12アルク高田馬場4F (株)広真アド内
TEL : 03-3365-0182 FAX : 03-3360-6364 E-mail : office@atem.org

(切り取り線)

映画英語教育学会入会申込用紙 (FAX 03-3360-6364)

私は、「映画英語教育学会」の会則を承諾し、入会を申し込みます。

年 月 日

氏名	(フリガナ)			
	〒			
自宅	住所	〒		
	電話	FAX		
	E-mail			
勤務先	学校名	学校名		
	会社名	部署名		
	住所	〒		
	電話	FAX		
郵送物送付	<input type="checkbox"/> 自宅優先		<input type="checkbox"/> 勤務先優先	